

# 市自連ニュース

令和4年11月20日(第30号)

発行：座間市自治会総連合会

発行責任者：湯浅 一弘

〒252-0021

座間市緑ヶ丘1-1-1 ふれあい会館2階

電話/FAX：046-252-8751

URL <http://shijiren-zama.com/>

Eメール [shijiren-zama@nifty.com](mailto:shijiren-zama@nifty.com)



地域では新型コロナの感染対策を施しつつ、自治会や地区自連が様々な行事をしています。徐々に活動が増えてきていますので、今号ではそのいくつかをご紹介します。

## 座間中学校避難所開設訓練 実施日：令和4年10月2日(日) 参加者：22名

午前中は、地域自治会の運営委員が、座間市職員および施設担当職員と一緒に、手分けして体育館内生活用テント/便槽型トイレ/ペット用テント/使用する部屋のプレート/車中泊車両用の避難レイアウトを設営しました。

午後は、設営した避難所の様子を一般(89名)の方に4つの班に分かれて、見学して頂きました。また、他地区の自治会関係者も見学に来られましたので、今後の活動の参考にして頂ければと思います。



教室へのプレート設置



車中泊用ライン引き



日産の協力によるリーフの蓄電池利用の説明



## 中原小学校避難所開設訓練 実施日時：令和4年10月16日(日)9時~12時 参加者：20名

中原小学校は立野台地区をはじめ、複数の地区自連が避難所としています。今回は、初めて訓練に参加した方が大多数でした。中原小には飲料水用貯水槽がないので、飲料水の確保を求める意見が出ました。市危機管理課からは避難所内での履き物について、靴底のしっかりとしたものを履く、下足は必ず袋に入れ携行する等の説明がありました。テント張りは4~5人/張で10分程かかりましたが、経験を重ねると早くできるようになると思います。

国道246号線を挟んで海老名市と接している小学校なので、被災した方が市境をまたいで避難してくることが想定され、幅広い対応が必要になると実感しました。



防災備蓄倉庫備品類の説明



テントの設営



簡易トイレ組立

## わらび運営委員会による自主防災訓練 実施日：令和4年10月16日（日）

立野台東、立野台西、立野台北の3自治会は親睦、防災、災害対応を目的として「わらび運営委員会」を設置しています。その活動のひとつ「自主防災訓練」を3自治会のほぼ中央にある通称「わらび公園」（立野台東公園）で実施しました。

防災倉庫や集会所内にある防災備品・備蓄品の確認、災害発生後の対応説明、可搬式ポンプの始動確認、かまどを使っての炊飯、仮設トイレ設営を行いました。

これからも参加者の意見を踏まえ更に充実した訓練になるよう検討を重ねていきます。



防災備蓄倉庫の説明と確認



軽可搬ポンプの始動訓練



かまどでの炊飯訓練

## 広野台第二自治会の芋掘り会 実施日：令和4年10月23日（日）

秋晴れの中、芋ほり会を午前の部・午後の部と2回にわたり実施しました。今年は過去最高の大人160名・児童50名総勢210名（93世帯）の参加がありました。

あちらこちらで「こんなに掘れた～！」の  
声上がりみんな収穫に夢中。

今年も『紅はるか』の出来は最高！

農家さん来年もよろしく！

